学校番号	１００７

令和３年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
講座名	音楽Ⅱ						
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ２」　（教育芸術社）						
副教材等	音楽の基礎トレーニング　大人の音楽ドリル　入門編　（株式会社ヤマハミュージックメディア）よりプリント学習						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・本校の音楽Ⅱは、歌唱、器楽、鑑賞、創作の４つの分野を年間通して勉強します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テスト、筆記テストで評価します。
・どの活動も、どの音楽も偏り無く幅広く取り組むことで、自分の音楽表現が広がり他者の音楽表現への理解も深まります。
・音楽が生涯ずっと皆さんの心の支えとなり、生きていく力となる事を願っています。

２　学習の到達目標

・生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに感性を高める。
・個性豊かな表現の能力を伸ばす。
・主体的な鑑賞の能力を伸ばす。
・音楽文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をする為に必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況（観察・聴取） 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況（観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況（観察・聴取） 創作曲	学習プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	詩の内容を大切にして歌おう	＜歌唱＞ ハナミズキ 糸 季節の歌　他	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	イマジネーション力を高めよう	＜鑑賞＞ ロマン派の音楽	○			○	a：音楽やその時代の音楽文化に関心をもち、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。 d：音楽を形づくっている独特な要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	観察 ワークシート
	音の響きや表情を感じ取って演奏しよう	＜器楽＞ リコーダーアンサンブル スタジオジブリ・メドレー　他	○	○	○		a:アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:リコーダーの音色や奏法の特徴を活かした技能を身につけ、創造的に表している	観察 ワークシート 演奏の聴取

2ターム	外国の言葉で心を表現しよう	＜歌唱＞ 春への憧れ（ドイツ語） Nel cor piu non mi sento（イタリア語） 季節の歌　他	○	○	○		a：それぞれの言語の文化的な背景や曲想や歌詞があらわす情景や心情、楽曲の背景との関わりに関心をもち、イメージを持って歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b：曲のリズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c：曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現する為に必要な発声、呼吸法、読譜などの技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜鑑賞＞ ミュージカル作品	○			○	a：作品の舞台となる場所や時代の音楽文化に関心をもち、学習に主体的に取り組んでいる。 d：作品の中の音楽で、それをかたちづくっている要素を知覚しそれらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり良さや美しさを創造的に味わって聞いている。	観察 ワークシート
	ギター演奏に親しむ	＜器楽＞ コード弾き歌い 2重奏	○	○	○		a：アンサンブルに関心をもち、その持ち味を生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b：音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c：演奏をする為に必要なギターの基礎的な演奏技能を身に付け、創造的に表している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	思いを作品に	＜創作＞ 創作1 ＜楽典＞ 副教本より 自由発表	○			○	a：主体的に作品を記譜、記録したり、互いに発表しあったりする活動に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d：できあがった作品について音楽の諸要素の働きがイメージにふさわしいものになっているか考えながら創造的に聞いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

3ターム	音の組み立てや響きに注意してアンサンブルを楽しもう	＜歌唱＞ 2重唱 3重唱	○	○	○		a:曲想と文化的歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝える為に必要な歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜器楽＞ 器楽アンサンブル ねこバス　等	○	○	○		a:各種楽器の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ｃ:アンサンブルに必要なリズム感や読譜力を身に着け、創造的に表現している。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜鑑賞＞ 現代音楽作品	○			○	a:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と表現上の効果との関わりに関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。 ｄ:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート

4ターム	日本の音楽を味わい、イメージを音にしよう	＜歌唱＞ てぃんさぐぬ花 涙そうそう 津軽海峡･冬景色 季節の歌　他	○	○	○		a:曲想と文化的歴史的背景との関わりに関心をもち、歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:旋律・リズム・速度など音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、曲種に応じた発声の特徴を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:表現したいことを伝える為の歌唱の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜器楽＞三線 てぃんさぐぬ花 涙そうそう	○	○	○		a:三線の音色や奏法の特徴に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組んでいる。 b:音色やリズムなど音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受し、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 ｃ：演奏表現に必要な三線の技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜鑑賞＞ 雅楽 平調 越天楽　他	○			○	a:楽器の音色や旋律、リズムの特徴と文化的・歴史的な事柄に関心をもち、理解する学習に主体的に取り組もうとしている。 ｄ：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって鑑賞している。	観察 ワークシート
		自由発表	○	○	○	○	ａ：自らの発する音楽に関心をもち、歌唱、器楽、創作作品の発表に主体的に取り組もうとする。 ｂ：音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 ｃ：表現したい曲想を歌詞や楽曲の背景と関わらせて、イメージをもって音楽表現する為に必要な発声、呼吸法、演奏法などの技能を身に付けている。 ｄ：音楽を形づくっている要素を知覚しそれらの働きを感受しながら、他の演者が演奏する音楽のよさや美しさを創造的に味わって聴いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について　a：音楽への関心・意欲・態度　　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　　d：鑑賞の能力

原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。